

素敵な光景パートⅡ…

集団生活を営む場において円滑な人間関係を築くには、人とのコミュニケーションは欠かせません。中でも「あいさつ」は簡単に誰にでもでき、あいさつを交わしたお互いが気分がよくなるコミュニケーションの基本です。この1学期、その「あいさつ」を地域の方や来校される方に褒めていただく機会がたくさんありました。「青垣中学校の生徒はよくあいさつをしますね」「自分からすすんであいさつできる生徒が多いですね」「さわやかな気持ちの良いあいさつをしますね」などなど。嬉しいことに、わざわざそのことを伝えるためだけに、お電話をいただくこともありました。ただ、短期間で今のようにあいさつができる状態になったわけではなく、先輩たちが意識してやり始め、それを良き伝統としてずっと守り続けてきたからこそ青垣中の文化として根付いているのだと思います。そのあいさつ文化を支える一つに生活委員会を中心に行っている「朝のあいさつ運動」があります。毎週、朝の登校時に、昇降口や坂を登ったところで、委員の人が気持ちの良いあいさつでみんなを迎え入れてくれます。登校した人はみな、そのさわやかなあいさつによって、すがすがしい気分を一日をスタートさせることができます。生活委員会中心によるこの朝のあいさつ運動、いつも「素敵な光景だな」と思って眺めています。

